

新市庁舎は「五輪」までに必要か？

横浜市会議員やまうら英太

去る5月29日の横浜市議会第2回定例会において、

新国立競技場の建設は白紙

横浜市役所「新市庁舎」の整備予算が自民党・公明党・民主党等の圧倒的多数の賛成で可決されました。

ご存じの通り、「新国立競技場」の建設が白紙となりました。

行政は昨年3月、みなどみらい地区に616億円の予算をかけて新市庁舎を建ててしまいました。

この施設も当初の見積もりが甘く、屋根付きプラン1300億円から2500億円と、ほぼ倍の金額が必要になる事態になってしまいました。建設費用は税金で賄われます。この建設が白紙になるのは、当然のことでしょう。

私たちは今後も、一部の既得権益のための政治ではなく、市民の皆さんが笑顔になる政策の実現へ向け、まい進してまいります。



やまうら 英太

（略歴）

- ◆東戸塚小、舞岡中、国際海洋高、オレゴン大学卒業、グローバルビジネス経営大学院修了、㈱ニトリ
- ◆横浜市認定保育園園長 ◆衆議院議員秘書
- ◆2015年 横浜市会議員初当選

山浦英太事務所 戸塚区吉田町978-7
☎045-864-3112 <http://www.yeita.net/>

行政サービス優先を

東京五輪や震災の復興需

まい進してまいります。